



最も大きなブースで出展したヴェオリア社

国際水協会世界会議・展示会
IWA北京会議短信

その2

ターCEO、アントワヌ・フレロ氏は9月10日、北京で記者会見し「ヴェオリアは将来の水事業の重心は中国に置く」と宣言し、中国政府の水事業の開放政策に伴い、積極的に投資をすすめる方針を明らかにした。

合計19のプロジェクトを獲得したことになり、7000人を雇用、2005年アへの投資金額は4・7億ユーロ(約660億円)に達している。さらにフレロ氏は、中国市場で今後2桁の成長を確保すると述

下水道、また工業団地の排水処理のO&M契約獲得を強化している。

シーメンスは中国における交通システムや通信、送電システムに強く、水処理に力を入れたのは最近である。2005年夏に、買収した米国のUFフィルターの技術をもとに中国市場に参入する宣言をしたが、大きな進展がなかった。

2006年9月、IWA総会の前にはCNCウォーターテクノロジ社を買収して発表した。このCNC社は中国国内で、大型の水処理や海水淡水化に実績を持つ中堅の会社(社員1200人)である。シーメンスの水処理部門のCEO、ロジャー・ラドック氏は「15%の成長を遂げる中国市場はシ

IWA北京会議の展示会にみる
グローバル水企業の動き

メインプレーヤーの動きを見たいとき、「その業界の展示会のブースを見よ」とは良く言われる言葉である。今回のIWA北京総会の展示会で、大きなブースを構えているヴェオリア、スエス、シーメンスを覗いてみた。

ヴェオリア社は、最も大きなブースを構え受付嬢も2力所に配置している。中国国内ではすでに9000億円近い受注残があり、中国市場での自信が伺える。事実、ヴェオリア・ウォーター

また、今年に入り2件の新規受注を発表、一つは柳州市の給水人口100万人のO&Mプロジェクト(30年契約)、もう一つは中国石化傘下の北京燕山石化の25年O&M契約である。この二つを加え、現在ヴェオリア・ウォーターは中国国内

べている。この展示会にはヴェオリアのアジア・パシフィックの上級幹部が勢揃いし、ヴェオリア・ウォーター・シヤパンのローラン・オーギュスト社長の姿も見えた。

スエスグループはオンデマンドテクノロジーを核に、中

契約、総額6億ユーロ(約840億円)を受注。1970年以降、スエスグループの中国市場での長期O&M契約は20プロジェクトを超えている。さらに香港の新世界グループとの合併会社シーフレンチを

活用し、中国の北東部の上

ラドック氏は「15%の成長を遂げる中国市場はシ

グローバル水企業各社とも、この機会を利用して中国の要人と積極的にコンタクトしている。9月11日、ヴェオリア・ウォーターのCEOフレロ氏は中国国家建設部、水利部の要人と、また米国のITT社(世界最大のポンプサプライヤー)のCEOステイブ・ローランカー氏は9月12日、国家水利部副部長と面会し具体的な提案をしている。